

## 帰宅困難者対策訓練 実施事例紹介

## 【平成 26 年度】

## ●幸区（参考資料 1）

## 1 訓練概要

新川崎駅周辺及び国道 1 号線沿線に帰宅困難者の誘導や受け入れ訓練

## 2 実施日時

平成 26 年 10 月 30 日（木）15 時 00 分～17 時 00 分

## 3 参加機関

J R 東日本、幸市民館、川崎市産業会館、ミューザ川崎、ホテルメッツ川崎、東芝小向事業所、パイオニア、幸警察署、幸消防署、幸区役所 等

## ●宮前区

## 1 訓練概要

宮前消防署との合同訓練の一環として、帰宅困難者対策訓練を実施し、帰宅困難者を受け入れた J A セレサ川崎では炊き出しも実施

## 2 実施日時

平成 26 年 11 月 10 日（月）10 時 00 分～12 時 00 分

## 3 参加機関

JA セレサ川崎・東急電鉄鷺沼駅・宮前警察署・宮前区役所・宮前消防団・宮前消防署

## ●武蔵小杉駅周辺（参考資料 2）

## 1 訓練概要

大雪により鉄道が運行停止となった場合を想定し、情報の受伝達や一時滞在施設の開設、帰宅困難者の誘導等の訓練を実施

## 2 実施日時

平成 27 年 1 月 30 日（金）10 時 00 分～11 時 00 分

## 3 訓練参加機関

J R 東日本武蔵小杉駅、東急電鉄武蔵小杉駅、神奈川県警川崎市警察部、神奈川県警中原警察署、中原交通安全協会、中原安全運転管理者会、中原防犯協会、中原防犯指導員連絡会、N P O 法人小杉駅周辺エリアマネジメント、中原消防署、総務局危機管理室、中原区役所【参加者 約 125 名】

## ●高津区

## 1 訓練概要

大地震に伴い鉄道の運行が停止した場合を想定した図上訓練。受入側の対応を主とした内容とする予定

## 2 実施日時

平成 27 年 3 月 13 日（金）

## 3 参加機関

高津区防災ネットワーク会議 交通・帰宅困難者対策部会

## 【平成 27 年度】

## ●川崎市内の各主要駅周辺における同時訓練の実施

## 1 訓練概要

大地震の発生に伴い、市内全域で鉄道の運行が停止した場合を想定し、同日同時刻に市内各主要駅における帰宅困難者対策訓練を実施する。

## 2 実施場所

川崎駅周辺（川崎市・幸区）、武蔵小杉駅周辺（中原区）、武蔵溝ノ口駅周辺（高津区）、登戸駅周辺（多摩区）、新百合ヶ丘駅周辺（麻生区）、宮前区内（宮前区）

## 3 実施予定日時

平成 27 年 11 月 18 日（水）午前中



平成26年11月11日  
幸 区 役 所

## 新川崎駅周辺及び国道1号線沿線 帰宅困難者対策訓練の実施結果について

### 1 訓練目的・概要

幸区では、地域住民、企業、関係団体等と行政で構成する「幸区災害対策協議会」を設置し、大規模災害時における必要な対策の協議・検討を行っています。

この度、同協議会帰宅困難者対策部会が主催し、幸区役所単独では初めての帰宅困難者対策訓練を新川崎駅周辺及び国道1号線沿線で実施し、平成26年3月に策定した「災害時行動ルール」の検証を行うとともに、関係団体相互の連携強化及び防災意識の向上を図りました。

### 2 訓練日時

平成26年10月30日（木） 午後3時～5時

### 3 訓練内容

- (1) 新川崎駅での安全確保、安否確認及び施設安全点検
- (2) 幸市民館（一時滞在施設）での施設安全点検及び帰宅困難者受入れ準備
- (3) 簡易無線機等による新川崎駅・御幸公園・幸市民館・幸区役所（情報受発信拠点）との情報伝達
- (4) 帰宅困難者の避難誘導及び途中での施設案内表示、帰宅支援ステーション（コンビニ等）の確認

新川崎駅（駅前滞留者）⇒ 幸市民館

御幸公園（徒歩帰宅者）⇒ 幸市民館

- (5) 幸市民館の一時滞在施設開設（帰宅困難者受入れと備蓄品配布）

※ 訓練終了後に、反省・検討会を実施



国道1号線沿線での避難誘導



幸市民館（一時滞在施設）での受入れ

### 4 主催・訓練参加者

- (1) 主 催 幸区災害対策協議会帰宅困難者対策部会
- (2) 参加者 東日本旅客鉄道(株)横浜支社、川崎駅、新川崎駅、幸市民館、川崎市産業振興会館、  
(54名) ミューザ川崎、ホテルメッツ川崎、かしまだ駅前通商店街振興組合、川崎西口商店会、  
(株)東芝小向事業所、パイオニア(株)、幸警察署、幸消防署、総務局危機管理室、幸区役所

### 5 訓練結果・課題

- ・新川崎駅から幸市民館までの避難経路が遠く、新川崎駅周辺に一時滞在施設の確保が必要
- ・一時滞在施設への案内サインの整備（特に国道1号線沿線）が必要
- ・情報伝達訓練で一部施設において通信が途絶える事態が発生 など

(問い合わせ)  
幸区役所危機管理担当  
電話 556-6658 内線 62361

平成 27 年 2 月 4 日  
危機管理担当

## 大雪に伴う鉄道運行停止を想定した帰宅困難者対策訓練 (中原区本部訓練) の実施について (報告)

### 1 訓練目的・概要

中原区役所では J R 東日本、東急電鉄、神奈川県警、中原消防署等と合同で、大雪により鉄道が運行停止となった場合を想定し、情報の受伝達や一時滞在施設の開設、帰宅困難者の誘導等の訓練を実施しました。また、この訓練と連動した中原区本部訓練を行うことで危機管理体制の再確認及び充実強化を図りました。

### 2 訓練日時、場所及び内容

日 時 平成 27 年 1 月 30 日 (金) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

場 所 J R ・ 東急武蔵小杉駅周辺及び一時滞在施設

内 容 (1) 簡易無線機を利用した情報の受伝達訓練

(2) 一時滞在施設の開設 (受入) 訓練

(3) 帰宅困難者の一時滞在施設への誘導訓練

武蔵小杉駅 (帰宅困難者の滞留) ⇒ 中原市民館 (一時滞在施設)

(4) 中原区本部開設訓練

(5) 中原警察署による信号機滅灯訓練 (東口交差点)

### 3 訓練参加者 (約 125 名 ※1)

J R 東日本武蔵小杉駅、東急電鉄武蔵小杉駅、神奈川県警川崎市警察部、神奈川県警中原警察署、中原交通安全協会、中原安全運転管理者会、中原防犯協会、中原防犯指導員連絡会、N P O 法人小杉駅周辺エリアマネジメント、中原消防署、総務局危機管理室、中原区役所

(※1 帰宅困難者対策訓練 : 約 100 名、区本部訓練 : 約 25 名 合計 約 125 名)

### 4 課題、今後の対応等

- ・ 情報の受伝達訓練にて一部想定のとおりに進まない点があった。
- ・ 震災時における帰宅困難者も考慮し、一時滞在施設の受入拡大等に取り組むことが必要
- ・ 主要な交通結節点である武蔵小杉駅周辺地域における災害時の安全確保に向けたエリア防災計画策定の取組が必要

(訓練実施状況は裏面のとおり)

帰宅困難者の安全確保



施設安全管理（エスカレーター停止）



帰宅困難者の避難誘導



減灯訓練



一時滞在施設（中原市民館）開設・受入



区本部訓練



情報受伝達訓練



講評

